

令和6年度 事業計画

1 運営方針

パンデミックや相次ぐ自然災害、不安定な国際情勢の影響に加え、人口減少に伴い多くの面で縮小しつつある社会にあって、私たちの生活やものの見方は大きく変わらざるを得ない状況にある。

また、めざましく発展・進化する ICT や AI は、技術面だけでなく人々の世界の捉え方や価値観をも急速に変えていこうとしている。

福島県内でも、東日本大震災及び原子力発電所事故からの復興・創生の長い道のりが続く一方、大規模な県立学校の改革・再編が進みつつあり、学びのあり方をはじめ子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しようとしている。

このような中、高等学校における P T A 活動をとおして、社会教育、家庭教育の充実及び学校教育との連携を図り、次代を担う子どもたちのよりよい成長を支えるという目的を改めて確認しつつ、以下の取組を推進する。

- (1) 各地区会相互の情報交換や連携を密にし、活動の促進、充実を図る。
- (2) P T A 活動の意義や在り方を確認しながら、当面する諸課題への対応に努める。
- (3) 高校生の健全育成及び進路対策活動の推進に関わり、教育活動の充実に貢献する。
- (4) 関係諸機関や諸団体との連携の強化に努め、効果的な活動の展開を図る。

2 専門委員会活動方針

各委員会の活動については上記の運営方針に基づいて活動することを基本としながら、所属委員の諸事情に充分配慮し、弾力的に取り組むこととする。

- (1) 総務委員会
 - ① 理事会や各委員会で課題となった事項の検討協議
 - ② 県高 P 連の組織・運営・活動等の諸問題の検討
 - ③ 各単位 P T A 間の情報交換の促進
 - ④ その他
- (2) 健全育成委員会
 - ① 健全育成及び安全教育についての関係機関や諸団体との連携強化
 - ② 交通安全教育の推進と支援
 - ③ 生徒会活動の活性化やボランティア活動への協力
 - ④ 善行生徒の顕彰
 - ⑤ その他
- (3) 進路対策委員会
 - ① 新規卒業生の雇用促進対策
 - ② 高校生の進路対策についての調査と研究

- ③ 進路指導と家庭教育の抱える諸問題の調査と研究
 - ④ その他
- (4) 調査広報委員会
- ① 県高P連会報の発行
 - ② P T A活動の活性化に関する調査や情報の提供
 - ③ 広報紙コンクールの実施
 - ④ その他

3 主な事業

(1) 大会等

- ① 第74回福島県高P連会津大会（令和6年度県高P連総会に続いて開催）
5月30日（木）～5月31日（金） 会津若松ワシントンホテル
テーマ 「ともに考え ともにつくる ～子どもたちの未来のために～」
講演 「落花生を使った幸せ地域づくり」
講師 松崎健太郎 氏（A P J株式会社 代表取締役）
分科会 5分科会（各専門委員会ごとの問題提起と意見交換）
- ② 第73回東北地区高P連山形大会
7月4日（木）～7月5日（金） 山形市・やまぎん県民ホール 他
テーマ 「見つめよう、HOME ～世界へはばたく子どもたちへ～」
研究協議 「未来を生きる子どもたちを育むための家庭・地域・学校の連携の在り方」
6県代表によるパネルディスカッション
講演 「 Designing the NEXT Japan 」
講師 マンジョット・ベディ 氏（ next is east 代表/クリエイティブディレクター/フィルムディレクター/フォトグラファー）
- ③ 第73回全国高P連大会茨城大会
8月22日（木）～23日（金） アダストリアみとアリーナ 他
テーマ 「歴史の町で変革を!!」～新たな時代が目に入らぬか～
分科会 5分科会（各分科会ごとに基調講演とパネルディスカッション等）
講演 「人材育成の不易流行」
講師 二所ノ関寛 氏（元横綱 稀勢の里）

(2) 各種要望活動

- ① 新規高卒者の就職機会の確保に関する要請活動（高等学校長協会と共に実施）
- ② 県教育委員会への要望活動
- ③ その他

(3) 関係団体と連携した活動・事業

- ① 「4 + 1 ない運動」(県高等学校生活指導協議会)
- ② 「制服の適正な着用に向けた取組」「県下一斉服装指導」(校長協会、生活指導協議会、教育庁、東北及び全国高P連とともに展開)
- ③ 「新規高卒者就職サポートプログラム」保護者研修会(県商工労働部、イノベーションコースト構想推進機構)
- ④ 「薬物乱用防止パンフレットの作成・配付」(全国高P連)
- ⑤ その他

(4) 各種補償制度の運営

- ① 福島県高P連高校生総合補償制度・自転車総合補償制度
- ② 全国高P連賠償責任補償制度(全国高P連)